

(財)日本ユニセフ協会佐賀県支部通信 第18号 2008年9月

事務所：佐賀市水ヶ江4丁目2-2 TEL&FAX 0952-28-2077

e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

URL <http://www.2.odn.jp/unicef-saga/>

支部通信はホームページでもご覧いただけます

あんなに暑かった夏はどこに行ってしまったのでしょうか…。虫の声も近くなり、すっかり秋の風情です。お元気でお過ごしでいらっしゃいますでしょうか？

8月10日には、「ユニセフのつどい」初めての試みで「アフリカンナイト」を開催しました。ケニアのナイロビ、最大級のスラム・キベラで孤児・ストリートチルドレンのための寺子屋を運営しておられる早川千晶さんの情熱あふれる講演と、ケニアのドゥルマ民族の伝統音楽「センゲーニャ」の巨匠スワレ・マテラ・マサイ長老、同じくケニア在住のミュージシャン大西匡哉さんをお招きしてのアフリカンドラム・ライブで、アフリカの熱い心を体感しました。

第5回ユニセフのつどい「アフリカンナイト」へのご協力ありがとうございました！



スワレ・マテラ・マサイさん 大西匡哉さん

第5回ユニセフのつどい

8月10日(日) 浪漫座(佐賀市)

Peace & Unite unicef ~saga~ アフリカンナイト トーク エンド ライブ

主催 : Peace & Unite 実行委員会

「第5回ユニセフのつどい」を、佐賀市歴史民俗館という、鹿鳴館を思わせるような百年の歴史をもつ情緒ある浪漫座(旧古賀銀行)で開催しました。

ユニセフに・アフリカの子どもたちに・あるいはアフリカの太鼓に...、それぞれの思いで関心を持った大勢のお客様の参加がありました。Peace & Unite 実行委員会からアフリカ緊急支援募金として、56,789円のご協力がありました。ありがとうございました。



・講演「アフリカの子どもたちの笑顔に出会う」 講師 : 早川千晶さん

すごく苦しんだことがあって世界旅行をするようになった末、アフリカに……

すぐに魅力を感じました。住んでいるナイロビはケニアの首都、人口300万人の大都会です。ここでの一番大きな問題は貧富の格差。都心部にはビルが建ち並び、車、インターネットも当たり前ですが、そこから車を10分走らせただけでスラム街が目飛び込んで来ます。

長屋400軒にトイレはたった一つ。もちろん水道もありません。収入源がほとんどないのに家賃を支払う必要があります。ゴミから拾った腐敗した肉や食物を口にするしか生きていく術がありません。しかし、そこには生きる活力がみなぎっています。

こんなに苦しい生活をしているのに彼らは「神さま、ありがとう。」と口ずさみます。歌をとっても愛しているし、子どもたちの目は明るい未来への思いに溢れ、輝いています。

ある時私たちの寺子屋に一人の少年がおずおずと訪ねてきました。そして言うには「僕には両親もいません。家もありません。でも僕には夢があります。僕は学校に行きたいんです。どうしたらいいですか？」

「ここにいていいのよ。ここが学校なの」

少年は喜んで、それからここに住むようになり本当に一生懸命勉強しています。

今は受験生です。

高校に行くために必死で勉強しています。大きくなったらこの国のために働きたい。困っている人を助けたいと言っています。

ここには身売りされて命からがら逃げてきた子どもたちもいます。ある時小さな3人の兄弟がやってきました。この一番小さい子は恐怖のために口もきけなくなっていました。その少年を同じくつらい思いをしてきたさっきの少年がやさしく抱きしめてこういつているのを聞きました。

「大丈夫だよ、神様はちゃんといるから……。僕はね、路上で暮らしているときもいつも祈ってたんだよ。『僕に住む家をください、学校に行かせてください』って、毎晩寝る前に神様に祈って眠りについてた。でも朝がきてもなんにも変わらなかったけど諦めずに祈っていたら……。ほらこうして今は家もある、学校にも行けている。神様はちゃんといるんだから……。」って。

彼らと自分たち。貧富の差を埋めるには、自分の立場で、できることをしていくのが大切だと思っています。

・アフリカンドラム・ライブ：「響け！アフリカの鼓動」

スワレ・マテラ・マサイさん

ケニアのドゥルマ民族の伝統音楽「セングーニャ」の巨匠。ミリティーニ村のジュンバ・ラ・ワトト（子どもの家）の会長でもあります。

大西匡哉さん

ケニア在住のミュージシャン。ドゥルマ民族の村やスラムの音楽家とともにJ I W E を設立し、音楽活動を通してコミュニティサポートに取り組んでいます。

みんなの心がひとつになって

会場全体が太鼓のリズムに合わせて踊り出し熱い感動の渦に包み込まれました。



スワレ・マテラ・マサイさんは、ケニア、ドゥルマ民族の伝統音楽「センゲーニャ」継承者として本国では人間国宝級の人物。彼に師事した日本人パーカッショニスト大西さんとのコラボレートライブ「世界中で一番大切なのはパー（父）・マー（母）・トト（子ども）つまり父親と母親と子ども。愛、共に生きる、そして平和が一番大切なこと。皆様とそれらを作り上げるために、ここへ来た。」と話され、それぞれ演奏曲の説明やメッセージを温かなスワヒリ語でスピーチなさいました。いつも太鼓を演奏するときに心からのメッセージをこめておられるそうです。ライブ終盤には二人がリズムをとり、歌いながら会場を練り歩かれました。来場した方々も立ち上がってリズムを刻み、踊り、歌い、国や年齢を越え、フロア全体が一つとなりました。

今回、佐賀の太鼓隊の若者が大勢重い太鼓をしょって参加してくれました。

期せずして始まったケニアの太鼓と佐賀の太鼓のコラボ、本当に素晴らしかったです。

みんなの心がひとつになり誰もが立ち上がって踊り出さずにはいられなくなりました。

言葉は通じなくても長老の思い、メッセージは一人一人の心にしっかり伝わった瞬間でした。



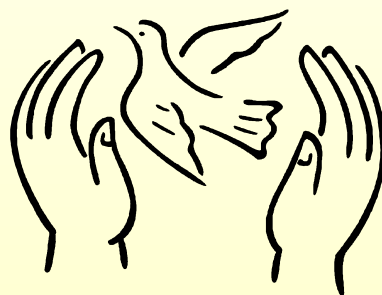
ぼくは、ストリートにいる3人組の16歳の子の話が一番印象に残った。お父さんたちといた時、みんな殺されそうになり、「この子だけは助けてくれ」とお父さんが言った。お父さんは自分の目の前で殺され、自分は必死で逃げてストリートで生きている。まわりの裕福な人からは不良みたいな目で見られている。でも、ストリートにいる子どもにはこんな事情があるのだと分かって、悲しいことだと思った。

（小学5年生）

早川さんたちの活動から援助を受けて高校に行けた人がある。ということはユニセフの活動、講演やライブが直接成果に結びついていると思った。アフリカの太鼓は初めて聞いたのですが、思っていたよりずっと迫力を感じた。

（高校1年生）

私はマテラ長老の『平和と優しさのある人は人々に愛されるものです』という言葉が印象に残りました。自分も偽ものではない"真のやさしさと平和の心"を持ち続けたいものだと思います。



世界の子どもたちは、今

エチオピア：子どもたちを襲う深刻な栄養不良
【2008年9月16日 エチオピア発】



©UNICEF Ethiopia/Shima Islam/2008

ツウラ保健センターでプランピー・ナッツ (Plumpy'nutR) を食べるネスサ・マソス君 (1歳)。6月下旬にセンターに来たときの体重は6キロでしたが、ユニセフが支援している栄養補給食品のおかげで、8月半ばには、1.5キロ増加しました。

最近の状況

エチオピアの降雨量は全土で増加していますが、南部諸民族州とオロミヤ州では、地域によって食糧不足が続く、栄養不良の症例が報告されています。ソマリ州のデゲハブル、コラへ、ワルデル県(ゾーン)では、干ばつが悪化し続けています。シニレ、ワルデル、コラへ県、そしてボレナ県の一部では、家畜の死亡数が増加しています。今年6月、エチオピア政府は、干ばつの影響を受けている地域で、緊急支援を必要としている人の数を460万人と発表し、深刻な栄養不良に陥っている子どもの数を7万5,000人と発表しました。この数字は、現在、再度見直されており、ユニセフでは、支援が必要な人の数は増加するものと見こんでいます。

洪水

ガンベラ州での洪水によって3万4,579人が被害を受けました。そのほとんどが、学校、政府系の建物や親戚の家などに避難しています。約5,000ヘクタールのメイズ(とうもろこし)畑とソルガム(穀物)畑が被害を受け、壊滅状態です。こうした状況の中、人々は大切な家畜を売り飛ばして食べ物を手に入れている状況です。こうした中で、避難生活を余儀なくされている人たちは、マラリア、下痢性疾患、呼吸器感染症などの感染症にかかる危険性にも直面しています。また、この地域の人々の健康を脅かしているものとして、飲料水の不足も報告されています。

栄 養

干ばつと食糧価格の値上がりによって、栄養不良の治療を必要としている子どもの数が増加しています。深刻な栄養不良と診断された子どもの数は、オロミヤ州、南部諸民族州で増え続けています。オロミヤ州では、7月23日～8月25日までの間に、1万973人の子どもたちが、栄養不良を治療するための食事療法を受け、南部諸民族州では、6月27日～8月21日までに、2万8,335人の子どもたちが、同様に栄養不良の治療を受けています。

ユニセフはセンターで配ることのできるプランピー・ナッツや高たんぱくビスケット(BP100)などのR U T F (Ready to use therapeutic food= すぐに食べられる栄養補助食品)を含む医薬品、そのほかの基礎支援助物資を3カ月分、15の移動保健チームに提供しました。またユニセフは、35の郡(ワレダ)で栄養不良の子どもたちを発見するための支援と、ビタミンAや寄生虫駆除剤を提供しています。

保 健 急性の水様性下痢

アムハラ州とオロミヤ州に深刻な脅威をもたらしている急性水様性下痢の流行は、その他の地域にも広がる危険性が懸念されています。ユニセフでは、症例治療センター(CTC)を設置できるよう、スタッフの研修、ベッド、テント、消毒剤、水を入れるための容器を提供しました。今までに、CTCを12施設建設しました。また、ユニセフは、浄水剤22万3,355袋、飲料水用の容器4,595個、石鹼1万2,720個、そして医療用品をオロミヤ州に届けました。アムハラ州には、CTC用のキットを16セット、液体の浄水剤を39万1,815瓶、飲料水用の容器を6,549個、石鹼17万624個、その他の医療用品を届けました。8月末、ユニセフとWHOは、ソマリ州のジジガ県の52郡(ワレダ)67万8,000人の5歳未満児にポリオの予防接種キャンペーンを実施できるよう地域保健局を支援しました。

【資料提供：日本ユニセフ協会】



レッツ ユニセフ!



佐賀清和中学校

ユニセフ実行委員会

委員長 上赤 菜都美さん

副委員長 真名子 優香さん



私たちの学校では、「KEEP THE PEACE ～一人一人の笑顔のために～」をキャッチフレーズとして、9月9日から9月22日にかけてユニセフの募金活動を行いました。9月10日、文化祭2日目にはチャリティーバザーを行いました。各クラスでできるだけ多くの品物を用意し、みんなでひとつになって頑張りました。また、各クラスから2名ずつ出ているユニセフ実行委員は、多くの人々に関心を持ってもらおうと、学年ごとに、世界の現状や水問題、ユニセフが支援している国々を調べ、広用紙にまとめて廊下に掲示しました。私たちは改めて「世界の現状」を痛感しました。

世界には大勢の子どもたちがいますが、その中にはきれいな水を飲めない子どもや、学校に行けない子どもがいます。HIV/エイズによって両親を亡くし、さらに住んでいた村から追い出されてしまった「エイズ孤児」と呼ばれる子どもたちもいます。このように世界には、めぐまれない子どもたちがたくさんいるという現実を改めて確認したのです。これはとても悲しいことです。今回の活動は、前回に増してユニセフの活動の意義を知って行えたと思います。救える命を救いたいです。あるべき笑顔を見たいです。

私たちの活動が、一人でも多くの子どもたちの支えや助けになれば幸いです。

かつどう ほうこく

7月1日(火)募金贈呈式

事務所にて



佐賀市立東与賀中学校では、日本ユニセフ協会からの学校募金の呼びかけに応じてユニセフ募金に取り組みました。

各クラスの奉仕部のみなさんが中心となって活動をした結果3,233円の募金が集まり、3年の生徒会 奉仕部長・副部長と担当の先生が事務所までお届けくださいました。

この金額で、例えば800人の子どもたちに1年分のビタミンAカプセルをおくることができることを知り、「秋のシチメンソウ祭りでも頑張ります!」と力強い言葉でした。

7月6日(日)第3回 小城市ふるさとまつり

小城市芦刈庁舎周辺にて

南に有明海を抱くムツゴロウ王国芦刈町で第3回小城市ふるさとまつりが開催されました。「小城市ふるさとまつり」では例年、地元中学生の協力によるユニセフ募金活動が行われます。

今年は芦刈中学校3年生の皆さんが「ミャンマーサイクロン緊急支援募金」に取り組んでくださいました。梅雨明けの真夏日で汗びっしょりになりながらも、中学生の皆さんは会場を回って大勢のお客様に募金協力を呼びかけました。1時間の活動予定でしたが「楽しい。もっとしたい。」という希望で延長、約2時間の活動になり、33,417円もの募金になりました。

《活動を終えて》

はじめは声を出すのが恥ずかしくて大きな声が出なかったけど、みんなが募金に協力してくれるので嬉しくなってきた。だんだん大きな声が出るようになった。募金活動は楽しかった。

「お金を入れてもらえるかな?」と思って不安だったけど、思っていたより多くの方が協力してくれて、芦刈の人たちの優しさが分かって嬉しかった。



7月25日(金)ユニセフパネル展&ユニセフグッズ頒布

アバンセ(佐賀市)

佐賀県の6生協から約170人が参加し、『ピースアクション2008』が開催されました。

午前中には、核廃絶を求めて平和の行進、午後からはアバンセに集合し東京大空襲を描いたアニメ『ガラスのうさぎ』の上映も行われました

アバンセ(ホワイエ)では、ユニセフパネル展・グッズ頒布・ミニバザーを開催しました。

今年は、関心を持って募金をしてくださるたくさんのお子さんたちが目立ちました。

グッズによるご協力は8960円、募金、ミニバザーへのご協力は4133円で全額募金にさせていただきました。

ありがとうございました。



7月28日(月)事務所訪問体験学習

唐津東高校1年生の皆さんは、進路指導の一環として行われる職場訪問で佐賀県支部の事務所に来られました。日本ユニセフ協会の地域組織を訪問先として選んだ理由は「将来、外国の子どもたちを助ける仕事をしたいので、ユニセフについて調べたいと思った。」ということでした。



《学習を終えて》

ユニセフって世界のいろんなところで子どもたちのためにいろんな仕事をきめ細かくやっているということが分かりました。もっと色々知りたいので、また来ます。

ユニセフ出前授業



8月6日(水) みやま市立開小学校4年生～6年生「心に平和の灯火を」

8月6日の広島原爆記念日に、開(ひらき)小学校では平和学習が行われました。4年生から6年生までの皆さんは、現在戦争に巻き込まれている子どもたちの様子や、子どもたちのために活動するユニセフの仕事について学習しました。

《学習を終えて》

世界では水や食べ物やエネルギーの消費がかたよっていることが分かりました。ぼくは、食べ物をそまつにしたり水をむだ使いしたりしているので、今日からこれをなおして大切にしようと思いました。(4年男児) 友だちと意見が合わないときは、すぐにけんかにならないように、話し合うことが大切だと分かりました。自分のことだけではなく、相手の意見を聞いて相手の気持ちを考えることが大切だと分かったので、これから人の気持ちを考えられるようになりたいです。(5年女児)

8月8日(金) 佐賀市立循誘小学校1年～6年「平和について考えよう」

循誘小学校では平和集会が開かれ、全校の皆さんが「世界が一つになるまで」の歌を歌ったり、秋に修学旅行で長崎に行く6年生へ「折鶴」を手渡ししたりして平和を祈りました。

日本ユニセフ協会佐賀県支部から子どもたちに「平和ってなあに?」と問いかけ、平和の大切さについて一緒に考えました。さらに、子どもたちの命を守るユニセフの活動について学習しました。



《学習を終えて》

ぼくは、これまで「ユニセフ」というと正直「募金をするところ」というイメージしか持っていなくて、実際にどのような活動をしているのかほとんど知りませんでした。今日、話を聞いて初めて知ることがたくさんあり、勉強になりました。毎日ご飯をお腹いっぱい食べることができること、こんな暑い日でも気持ちよく生活できることは、本当に幸せなことなんだと改めて思いました。このようなことが平和なんだと考えることができました。いま、こうして生きていること、生かされていることに感謝して、これから先の生活の中で自分ができることを精一杯がんばっていきたいと思います。(6年男児)

佐賀善意銀行よりミャンマーサイクロン被災地に98万4242円！



佐賀善意銀行（頭取・中尾清一郎佐賀新聞社社長）は28日、県民から寄せられたミャンマー・サイクロン義援金98万4242円を、佐賀市の日本ユニセフ協会佐賀県支部に手渡した。浄財は、食料や水、教育関係の物資として被災地の復興に役立てられる。

義援金は5月12日から7月31日まで募り、個人や企業から21件が寄せられた。佐賀新聞社で行われた贈呈式では、佐賀善意銀行事務局長を務める中地重俊同社事業部長が、日本ユニセフ協会佐賀県支部事務局長の富崎鈴代さんに目録を手渡した。

【写真・記事：2008年8月29日佐賀新聞より】

佐賀善意銀行を通じてご支援くださった皆様、大変ありがとうございました。

5月2日に発生したミャンマーサイクロン・5月13日に発生した中国四川大地震には、個人・団体等多くの皆様方からたくさんのご協力をいただきました。皆様方の温かいご支援に心から感謝申し上げます。まことにありがとうございました。

ミャンマー サイクロン最新情報 【2008年9月5日 ミャンマー・ボガレ発】



©UNICEFMyanmar/2008/Stechert

チェット・タン・チャン村の子どもたちのためにできた「子どもに優しい空間」ユニセフが支援している。

ミャンマーのデルタ地帯にあるボガレ。その町からさらにボートに乗ることおよそ30分のところにチェット・タン・チャン村があります。村まで行き着くのも一苦労。ぬかるんだ道を歩き、バランスを崩しそうになるくらいぐらぐらする木の橋を渡り、木の幹から足を踏み外さないように気をつけてやっとたどりつける村です。

遠くの方から、ギター演奏と共に子どもたちが歌っているのが聞こえます。「清潔にするために手を洗いましょう」と、子どもたちはリズムに合わせて歌います。「指一本一本洗いましょう」歌声は、高床式の家屋から聞こえてきます。現在は、ユニセフが支援する「子どもに優しい空間」として使われています。サイクロンで被災した子どもたちのために安全な環境を提供するために設置されたものです。

ユニセフは、エーヤワディ管区とヤンゴン管区に101の「子どもに優しい空間」を設置しました。ユニセフは、栄養補給のためのビスケットを子どもたちに配ったり、適切な衛生や子どもの権利などの大事なメッセージを子どもたちに伝えたりするためにこの場所を利用しています。「子どもに優しい空間」で子どもたちは日常を取り戻しています。 【資料提供：日本ユニセフ協会】

ユニセフパネル展&ユニセフグッズ頒布 8月8日(水) 長崎市民会館展示ホールにて

「2008ピースアクション in ナガサキ」

テーマ「被爆者への想いを寄せる ～長崎の再発見～」



参加2回目となる今年は、「おたのしみくじ」「パネルの展示」「ユニセフすごろく」をしました。

「ユニセフすごろく」では、身長や体重を測定したり、レプリカの地雷に驚いたり、水がめを運んでみたりと、ユニセフの活動について遊びながら学びました。また、「おたのしみくじ」を楽しみながら、「20円で5人の子どもたちにビタミンAを送ることができる」ことを学びました。

長崎の学生ボランティアさんをはじめ総勢11名のボランティアさんが大活躍、大いに盛り上がった一日でした。お手伝いありがとうございました。

「2008ピースアクション in ナガサキ」は、日本生協連と長崎県生協連が、63回目の原爆の日を迎えるにあたり、あらためて平和を考えるために開催したものです。

9月11日(金)イオン「幸せの黄色いレシート」キャンペーン 佐賀市ジャスコ佐賀大和店

イオンは、環境・社会貢献活動の一環として、幸せの黄色いレシートキャンペーンを行っています。毎月11日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函BOXがお店に置かれています。この日に、買い物をし、レジ精算時に受け取った黄色いレシートを応援したい団体の投函BOXへ入れると、購入金額合計の1%が地域ボランティア団体などに希望する品物で寄贈されます。

佐賀県支部もレシートの投函BOXを用意していただいております。イオン・デーのこの日に、キャンペーンの輪を広げるためのイベントに参加させていただきました。

お買い上げの1%がユニセフの支援になります」「レシートで、栄養不良の子どもたちに支援ができるんですよ」と説明させていただきましたと、お買い物に来られた小さなお子様やお母様が熱心に聞いてくださり、沢山の方が協力してくださいました。

皆様ありがとうございました。



なくそう子どもポルノ 署名ご協力ありがとうございます！



日本ユニセフ協会は、子どもの性を売りものにする行為 = 「子どもポルノ」問題の根絶を訴えるため、2008年3月11日に「なくそう! 子どもポルノ」キャンペーンをスタートさせました。

佐賀県支部では4月より、2,000筆を目標に署名活動に取り組みました。本キャンペーンの趣旨にご賛同くださる多くの方々から、イベント会場、あるいは事務所を訪問されて、また、企業・団体関係の皆様方からの力強いご支援をいただきました。おかげさまで、目標の2,000筆を大きく越える3,511筆ものご賛同をいただいております。(9月25日現在)

たくさんのご協力に心から感謝を申し上げます。なお、このキャンペーンは引き続き11月末まで実施していますので、よろしく願い申し上げます。

日本ユニセフ協会は、映画「闇の子供たち」を応援しています。

映画「闇の子供たち」チラシ



©2008 映画「闇の子供たち」制作委員会

映画『闇の子供たち』は、ユニセフはもちろん、(財)日本ユニセフ協会が、長年にわたりその撲滅を訴えてきている「子どもの商業的性的搾取」、すなわち、子ども買春・子どもポルノ・人身売買といった問題を、非常にリアルに描いた作品です。それ故、スクリーンに映し出された映像には、あるいは目を背けたくなるかもしれません。しかし、残念ながら本映画のストーリーは、映画の舞台となったタイのみならず、洋の東西を問わず、世界各地で実際に起っている「現実」を映し出しています。

子どもたちは未来を担う大切な存在です。世界190カ国以上が批准し、最も普遍的な条約と呼ばれる「子どもの権利条約」は、子どもがあらゆる種類の虐待や搾取などから守られることを訴えています。しかし、世界には、子どもを商業的性的に搾取する大人が存在し、その犠牲となり、心身に一生癒えることのない傷を負う子どもたちが存在しているのです。しかしながら、この映画のタイトルが示すように、そうした被害の実態の多くは闇に隠れ、私たちの目に触れることはほとんどありません。

子ども買春・子どもポルノ・人身売買といった問題は、本映画の舞台となっているタイだけの問題ではありません。グローバル化の流れの中で、いくつかの国が法律で子ども買春や人身売買を取り締まったとしても、どこかの一国でもそれらを許容している国があれば、世界の子どもの商業的性的搾取問題の解決はおぼつかないものとなってしまいます。

映画『闇の子供たち』をきっかけに、子どもの商業的性的搾取問題について先ず「知って」いただけたらと思います。

【資料提供：日本ユニセフ協会】

ご支援・ご協力ありがとうございました！

コープさが生活協同組合様 芦刈中学校様 国際ソロプチミスト佐賀西部様 三日月小学校様 田口小学校様
与賀中学校様 損保ジャパン佐賀コールセンター様 ローソン佐大前店様 循誘小学校様
ようどう館佐賀校様 ようどう館大和校様 佐賀善意銀行様 Peace & Unite 実行委員会様
ユニセフを支援する会母子草様 (株)SUMCO様 黒川カイセイ薬局様 神埼中央公民館様
さが市民活動プラザ様 千代田中部小学校PTA成人教育委員会様 弘学館様 有明タクシー様
佐賀リハビリテーション病院様 温暖化防止ネット様 佐賀市国際交流協会様 住友生命佐賀支社様
カイセイ薬局荒江店様 副島病院様 三池・迎司法事務所様 杉の子文庫様 雇用能力開発センター様
野中商店様 循誘公民館様 田中鉄工所様 木室小学校様 佐賀市役所国保係様 日新公民館様
大塚製薬佐賀工場様 熊本県山二商会様 ファイザー株式会社佐賀オフィス様 うめづ歯科様
エコプラザ様 松尾建設様 佐賀共栄銀行秘書グループ様

(2008年6月15日～2008年9月25日)

いろいろな形でのご支援、ご協力で心から感謝申し上げます。

この欄での紹介は企業・団体等のみになさせていただいております。

個人の皆さまからもたくさんのご支援をいただいておりますが、平成17年4月1日からの「個人情報の保護に関する法律」施行に伴い、個人の方のお名前の掲載は控えさせていただきます。

日本ユニセフ協会会員募集中

会員として、世界の子どもたちを応援してください。

会員とは、ユニセフ日本委員会として、日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー（政策提言）活動を担う日本ユニセフ協会を、年会費によってご支援いただく方法です。入会いただきますと、世界の子どもたちの現状を知っていただく最新資料をお届けします。

年会費：個人の方は5,000円 学生の方は2,000円

お問い合わせは、下記事務所まで。



ボランティア募集中

日本ユニセフ協会佐賀県支部では活動のお手伝いをしていただける方を募集中です。

- 「カード頒布での出会いは楽しいネ」
 - 「パソコン入力ならまかせて」
 - 「子ども達に話すのが好き！」
 - 「イベント企画・運営はワクワク！」
 - 「広報誌・チラシ作りは面白そう・・・」
 - 「切手の整理も夢中になるわ」
 - 「職場でインクカートリッジの回収に取り組みたい（ユニセフを支援する会母子草へのご協力）」
- 等等... 他にもあなたのアイデアで...

いろんな形でのボランティア募集中です。まずは事務所までご連絡を

事務所 電話&FAX 0952-28-2077 e-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp

これからの予定

ドリームパーク出前授業

10月8日(水) 神崎市仁比山小学校 「水から世界を考えよう」

ユニセフ写真展

佐賀巡回展 「HIV/エイズの危機と子どもたち」

写真家 後藤勝 ~アジアのエイズ写真展~

回	期 日	会 場	備 考
	10月10日(金)~12日(日)	佐賀大学鍋島医学部キャンパス 佐賀大学むつごろう祭	グッズ頒布
	10月14日(火)~17日(金)	佐賀市駅前中央iスクエアビル4階 さが市民活動プラザ	
	10月18日(土)~19日(日)	佐賀市どん3の森 アバンセ アバンセフェスタ	グッズ頒布
	10月21日(火)~22日(水)	佐賀市どん3の森 アバンセ 展示コーナー	

出前授業

写真展

グッズ頒布

ボランティア

募集中です!

パネル展&グッズ頒布

11月9日(日) かたりべの里本庄まつり(佐賀市立本庄小学校)

出前授業

11月20日(木) 小城市立三日月小学校

12月11日(木) 武雄市立武内小学校

新柄のクリスマスカード&グッズ、年賀状、プレゼントに最適な知育玩具等をそろえています。

ユニセフ写真展 unicef in Tamaya 佐賀市 佐賀玉屋デパート

12月2日(火)~12月15日(月)

ユニセフ写真展「アグネス・チャン大使の中国大地震視察記録」

12月7日(日) ユニセフカード展「一枚のカードで守る 子どものいのち」

第30回ユニセフ ハンド・イン・ハンド

12月14日(日)午後2時30分~3時30分 ゆめタウン佐賀(決定)

12月21日(日)例年通り、下記の会場を予定しています。

佐賀玉屋デパート前 ジャスコ佐賀大和店 イオンスーパーセンター佐賀 バニーズ三日月店
上峰サティ

12月23日(火)天皇誕生日 予定 鹿島地区

詳しくは決まり次第 HPでお知らせいたします。

近くの会場でご協力いただけましたらありがとうございます。よろしくお願いいたします。